

こみや くにあき
小宮 國暉 議員
(新しい風)



- ◇「根がらみ前水田」維持保全対策
- ◇公立保育園民営化と待機児童解消
- ◇認知症予防と介護者への支援充実

「根がらみ前水田」維持保全対策

この水田一帯は昔ながらの田園風景を保ち、チューリップ観光資源、稲作体験学習、散策・健康づくり等、市民にとって大変付加価値の高い貴重な財産であると考えます。

質問 市は第五次長期総合計画を見据え、水田一帯の景観を継続維持し保全していくために、水田土地所有者及び団体への支援を視野に「(仮称)根がらみ前水田周辺環境保護・保全条例」を策定する考えはないか。

市長 この水田は自然景観や観光資源として、市の貴重な財産であり、市でも耕作できなくなった一部の水田を借り上げ、小学校の稲作体験の場や観光用の大賀ハスの栽培など、水田としての機能維持に努めている。市では今後も引き続き、販売販路の確保や農業後継者の育成などの支援を中心に、側面から農業振興を図っていくが、「環境保護・保全条例」などを制定することに



▲根がらみ前水田

については、それぞれの農地の土地利用に規制をかけてしまうなどの問題もあり、難しいものと考えている。

公立保育園民営化と待機児童解消

公立保育園民営化は行財政改革の一環であり、早急なる実施が望まれる。

質問 公立保育園民営化により待機児童の解消は図れるのか。

市長 民営化については、民間保育園の柔軟性を生かして多様な保育ニーズに対応することや、民営化により生じる財源や人材を、市の総合的な子育て支援策に活用し、充実を図っていくことを目的としている。民間保育園へ転換された場合、待機児童の解消に向け

た受け入れ枠の拡大を目指し、国等の民間保育所の施設整備補助等を利用することが可能となるので、他の市内民間保育園の状況等を勘案し取り組む。

はしもと ひろたか
橋本 弘山 議員
(新公会市民クラブ)



- ◇第五次羽村市長長期総合計画策定
- ◇羽村市における契約制度について

第五次羽村市長長期総合計画策定に向け
た取り組みについて

質問 長期総合計画策定の必要性は。

市長 市が真に市民の負託に応え、適切な地域社会の経営の任を果たすためには、将来の課題と目標を市民と共有し、まちづくりを進めていくことが必要との判断から取り組むこととした。

質問 第四次長期総合計画の検証は。

市長 計画実現を目指し、市では事業評価を毎年実施し、計画に掲げた事業の評価、検証を行っている。今年度は各分野別計画に記載の全47の施策について、施策評価を実施していく。

質問 少子高齢化、人口減少、世界的な景気後退の影響を受けた市財政悪化等の課題にどう対応していくのか。

市長 行政サービスを低下させず、市民ニーズに対処した事務事業の実施のため、行財政改革の推進、財源の確保に努めていく。長期総合計画策定と併行し「行財政改革推進プラン」の策定、



▲羽村市役所

実行で財政の安定化策を定めていく。
羽村市における契約制度について

質問 昨年「総合評価一般競争入札制度」が導入されたがその分析は。

市長 地元の優秀な技術力を持った業者の育成や、地元貢献を入札に反映できるので、有効な契約方法である。

質問 その結果、価格以外の評価項目

について、どのように考えるか。

市長 国土交通省や他の自治体の先例を参考に、地元貢献と技術力の配点方法や内容等について、見直すべき点は検討していく。

質問 景気対策として、小規模等随意契約希望事業者登録制度の検討を。

市長 市では、市内事業者の優先指名のほか、様々な緊急経済対策をとってきた。この登録制度は受注機会の拡大により市内事業者の活性化にもつながるので、現在制度の検討を始めている。

にしかわ みさほ
西川 美佐保 議員
(公明党)



- ◇生活習慣病予防へのシステム作り
- ◇高齢者、障がい者にやさしいまち
- ◇脳脊髄液減少症について

「生活習慣病予防対策」への効果的な
システムづくりを

①特定健康診査について

質問 今後の受診率の向上と課題は。

市長 平成21年度の受診率は40・4%で、目標値の37%はクリアしている。

4月30日には受診勧奨ハガキを発送した。今後の課題は、受診率の向上と、被保険者の健康増進を図ることである。

②その他の健康診査について

質問 前立腺がんのPSA値の測定や、C型肝炎、ピロリ菌検査は、健康診査の際、希望者の申し出により受けられるこ

とを検診通知等で周知してはどうか。

市長 今後、オプション検査の必要性や追加等について、医師会等のご意見もいただきながら検討する。

③一般市民の生活習慣病予防対策を

質問 スポーツセンターやスイミングセンターと保健センターが連携し、課題別コースを立ち上げ、保健師や栄養士のアドバイスを含めたメニューを作り、予防対策を図ってはどうか。

市長 健康増進と体質改善を図るための事業を、連携しながら実施し、効果を上げた実績があり、このノウハウを

生かし、生活・栄養指導と運動指導を組み合わせた事業を研究する。

質問 市内飲食店を対象に、女性向け低カロリーメニュー、カロリー成分表示を推進してはどうか。

市長 栄養やカロリー表示について、商工会、飲食店と情報交換を行ってきたい。

高齢者や障がい者にやさしいまちづくりにについて

質問 市役所等公共施設の駐車場に一定の障がいのある方の「ハートプラスマーク」や妊婦の方の「マタニティマーク」の設置を検討することであったが、その後の検討結果について何う。

市長 今年度、各施設の駐車場の利用状況等を確認し、設置可能な施設から計画的に整備していきたいと考える。



▲健康料理講習会の様子

地域主権改革について
質問 地域主権改革についての見解は。
市長 国から地方への権限移譲にあたっては適切かつ確実な財源措置が講じられることが必要不可欠であり、地域主権改革にふさわしい見直しとなるよう、全国市長会を通じて要請していく。
質問 羽村市が地方交付税交付団体に
なる可能性は。
市長 市民税法人などが大きく落ち込んでおり、財源不足で普通交付税が交付されると見込んでいる。

質問 行財政が厳しくなる中で、市民の暮らしを守りながらも、行政の大幅な見直しが必要。日本共産党は、羽村駅西口区画整理の一時ストップ、行政連絡員制度や商工会補助金の見直しなどを提言してきたが。
市長 市税収入が大きく落ち込み非常に厳しい財政状況だが、市の最重要施策の羽村駅西口区画整理事業をはじめ現計画事業の実現に向け全力で取り組んでいく。このため行財政改革をより一層進め、財源の確保に努めていきたい。

受動喫煙防止対策の推進を
質問 千葉県柏市では450の公園を含めた市の公共施設の敷地内を全面禁煙にした。羽村市も全面禁煙を。
市長 公園などを含めた公共施設の敷地内での喫煙については子どもの遊び場などに影響がある所から禁煙エリアの設定等について研究したい。
質問 羽村駅前、小作駅前を中心に、路上禁煙の実施を。
市長 今後、研究していきたい。
質問 市役所内の喫煙室の撤去を。特に1階ロビーにある喫煙室は撤去し、授乳室や乳幼児の遊び場の設置を。
市長 1階ロビーの喫煙室をなくし、授乳室を設置する準備を進めている。



▲市役所1階の喫煙室

なかはら まさゆき
中原 雅之 議員
 (日本共産党)



◇地域主権改革について
 ◇受動喫煙防止対策の推進を

教育長 増設も含め、今年度検討する。
通学路の安全対策を
質問 三中前から瑞穂境までの歩道延伸、カーブミラーの設置、新しい横断歩道への信号機設置が必要では。
市長 歩道設置は用地確保などの課題がある。カーブミラーは私道の出入口

のため、信号機は信号機同士の距離が短いなどの点から難しい。
質問 東児童館横の交差点に信号機設置が必要では。
市長 福生警察に要望しているが難しい。

③1人暮らしの高齢者対策について
質問 地域で支える協働型社会の仕組みづくりが大事である。市の対策は。
市長 住民の相互扶助的な連携や協働によって、地域の福祉力を豊かなものにしていくよう取り組んでいく。

保育の総点検を実施して
質問 0歳、1歳、2歳の低年齢児の待機児童の解消策について何う。
市長 本年度、私立かやの実保育園と私立玉水保育園2園の建て替え工事を支援し、増員を併せて行っていく。

すずき たくや
鈴木 拓也 議員
 (日本共産党)



◇学校教育の充実を
 ◇通学路の安全対策を
 ◇国民健康保険資格証について

学校教育の充実を
 市の財政は厳しい状況にあるが、多くの市民が「見直しを」の声をあげている羽村駅西口区画整理事業には今年度6億4千万円のお金が投入される。この事業を見直し、福祉や教育にお金をまわすべきとの立場で質問する。
質問 38人以上のクラスは何クラスか。



▲羽村第三中学校の前の道路

教育長 小学校103学級中、19学級。中学校43学級中、10学級である。
質問 神奈川県では小1〜中3まで5人学級、千葉でも36人学級だ。東京は40人学級で、小1・中1だけ39人だが、少人数学級をスピードアップして拡充する必要があるのでは。都に要望しているか。
教育長 教員の急激な増加による質の低下や財政負担などの点から、スピードをあげる必要はない。都への要望は行っている。
質問 羽村市独自で少人数学級を先取りしてすすめてはどうか。
教育長 市独自で行う考えはない。
質問 部活動費、PTA会費などを就学援助の対象にすべきではないか。
教育長 他市の状況を見ながら検討していく。
質問 通級指導学級に通いたくても通えない子どもがいるのではないか。通級指導学級の増設が必要では。

高齢者対策について
 ①介護予防リーダー育成事業について
質問 介護予防リーダー育成事業を終了した方々が高齢者の介護予防のため立ち上げたボランティアグループ「グーパー健康教室」が年々発展しているが、より広い会場を確保すべきと考えるがどうか。
市長 自主的な団体であることから、団体の意向を踏まえ調整していく。
 ②高齢者住宅について
質問 民間から借り上げている富士見平高齢者住宅は高齢者住宅と名称があるが、バリアフリーではない。このまま、契約更新時まで改装しないのか。
市長 富士見平高齢者住宅を含めたバリアフリー対策および、新たな住宅確保のあり方を総合的に検討し、方向性を出していきたい。
質問 政府は「事業仕分け」で都市再生機構（UR）の賃貸住宅事業を縮減する方向で結論付けた。行政に移行し

た場合、現在の市営住宅との問題や、URの負債を地方自治体が担うことになる。羽村市の考えは。
市長 URは、「今後、国土交通省との調整を図りつつ、業務のあり方を検討する。」という段階であり、市においては、今後の動向を注視していく。



▲介護予防教室の様子

◇高齢者対策について
 ◇保育の総点検を実施して

つゆき りょういち
露木 諒一 議員
 (公明党)

